

# 羽生市市民意識調査報告書

## 【概要版】

平成 28 年 1 月実施

羽 生 市

# 《目 次》

I.	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査の方法及び回収状況	1
3	調査項目	1
4	報告書をみる際の注意	2
II.	対象者の基本属性	
1	性別	3
2	年齢	3
3	職業	3
4	居住年数	3
5	居住地	3
III.	調査結果概要	
1	住み心地について	4
2	市役所の取り組みなどについて	5
3	コミュニティについて	7
4	羽生市の将来像について	8
5	市の特徴について	9
6	福祉・リサイクル・交通について	10
7	通信環境などについて	11
8	医療・防災・防犯について	12
9	選挙について	14
10	教育・スポーツについて	15
11	人権・男女平等観について	16
12	産業・商業について	17
13	全般的なまちづくりについて	17
IV.	調査結果のまとめ	
1	住み心地について	21
2	市役所の取り組みなどについて	21
3	コミュニティについて	22
4	羽生市の将来像について	22
5	市の特徴について	22
6	福祉・リサイクル・交通について	23
7	通信環境などについて	23
8	医療・防災・防犯について	24
9	選挙について	24
10	教育・スポーツについて	24
11	人権・男女平等観について	25
12	産業・商業について	25
13	全般的なまちづくりについて	25

# I. 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、市政に対する市民の意見や要望などを幅広く把握し、市民の声を市政に反映するとともに、過去の市民意識調査との比較により、市民ニーズや市民の考え方の動向などを把握し、まちづくりを行ううえでの基礎資料とするために実施しました。また、第5次羽生市総合振興計画・後期基本計画が平成29年度で期間満了となるため、計画の検証及び新たな第6次羽生市総合振興計画・前期基本計画を策定する際の資料としても活用します。

## 2 調査の方法及び回収状況

- 調査対象：市内に在住する20歳以上の市民
- 標本数：2,500人
- 抽出方法：住民基本台帳より地区別、無作為抽出
- 調査方法：郵送法（郵送による配布・回収）
- 調査期間：平成28年1月7日～22日
- 有効回収票数（回収率）：1,441人（57.6%）

## 3 調査項目

①住み心地について	問1：住み心地／理由 問2：定住意向 問3：住み続けるために必要なもの
②市役所の取り組みなどについて	問4：広報はにゅうの閲読 問5：ぎかいだよりの閲読 問6：自治基本条例の認知度 問7：計画づくりへの参加意向 問8：市政・市役所に対する印象
③コミュニティについて	問9：近所付き合い 問10：行事への参加 問11：市民モラル 問12：ボランティア活動／理由
④羽生市の将来像について	問13：羽生市の将来像 問14：将来の人口 問15：市町村合併
⑤市の特徴について	問16：ムジナモの認知度 問17：好きな場所・景色 問18：全国PRに有効なもの 問19：観光交流人口を増やすために
⑥福祉・リサイクル・交通について	問20：生きがいのある老後 問21：子育て支援に期待すること 問22：ごみのリサイクル 問23：交通 問24：最終電車時刻
⑦通信環境などについて	問25：市のホームページ利用状況 問26：電子申請・届出サービス
⑧医療・防災・防犯について	問27：かかりつけ医 問28：医療費 問29：健康診断 問30：地震と家屋 問31：火災警報器 問32：避難場所 問33：災害時の備え 問34：防犯対策 問35：犯罪防止
⑨選挙について	問36：投票率の低い理由 問37：投票率を上げる方法
⑩教育・スポーツについて	問38：学校教育について 問39：市内の学校への希望 問40：スポーツをする頻度／理由
⑪人権・男女平等観について	問41：基本的人権 問42：身の回りの男女平等観 問43：『男は仕事 女は家庭』の考え方
⑫産業・商業について	問44：購買調査 問45：農産物の購入目安 問46：商業・産業の振興
⑬全般的なまちづくりについて	問47：施策の満足度 問48：力を入れるべき施策
⑭属性（フェイスシート）	・性別 ・年齢 ・職業 ・居住年数 ・居住地
⑮市政意見	・自由記入

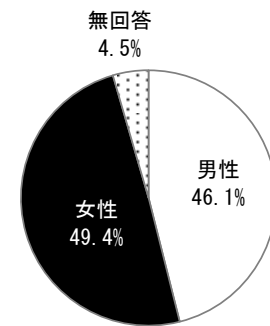
## 4 報告書をみる際の注意

- ・各設問の集計は、すべて単純集計、属性別（フェイスシート）クロス集計を行いました。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出します。したがって、合計が100.0%を上下する場合があります。
- ・図表中の「n」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示し、比率は「n」を100.0%として算出しました。
- ・グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- ・問の中には「～を選んだ方にお伺いします。」などいろいろな制限があり、また、回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

## Ⅱ. 対象者の基本属性

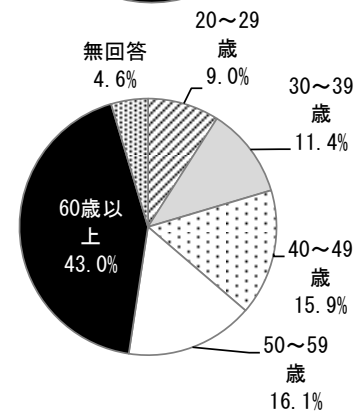
### 1 性別

属性 - 1 性別	n	%
男性	664	46.1
女性	712	49.4
無回答	65	4.5
全体	1441	100.0



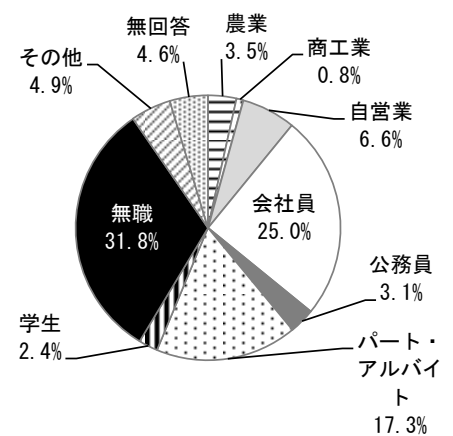
### 2 年齢

属性 - 2 年齢	n	%
20～29 歳	130	9.0
30～39 歳	164	11.4
40～49 歳	229	15.9
50～59 歳	232	16.1
60 歳以上	619	43.0
無回答	67	4.6
全体	1441	100.0



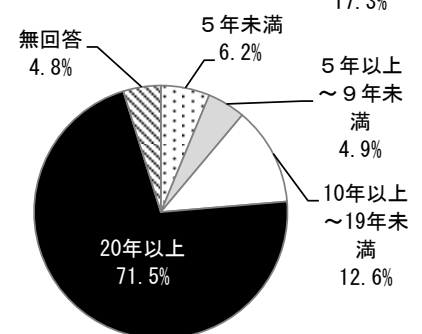
### 3 職業

属性 - 3 職業	n	%
農業	50	3.5
商工業	12	0.8
自営業	95	6.6
会社員	360	25.0
公務員	45	3.1
パート・アルバイト	249	17.3
学生	34	2.4
無職	458	31.8
その他	71	4.9
無回答	67	4.6
全体	1441	100.0



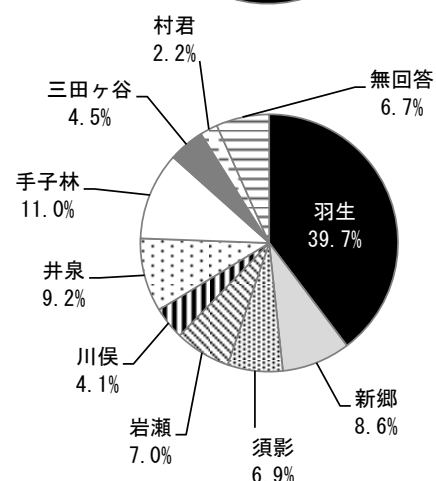
### 4 居住年数

属性 - 4 居住年数	n	%
5年未満	90	6.2
5年以上～9年未満	70	4.9
10年以上～19年未満	181	12.6
20年以上	1031	71.5
無回答	69	4.8
全体	1441	100.0



### 5 居住地

属性 - 5 居住地	n	%
羽生	572	39.7
新郷	124	8.6
須影	100	6.9
岩瀬	101	7.0
川俣	59	4.1
井泉	133	9.2
手子林	159	11.0
三田ヶ谷	65	4.5
村君	32	2.2
無回答	96	6.7
全体	1441	100.0



### Ⅲ. 調査結果概要

アンケート調査の大項目ごとに、主な回答結果を示しています。

#### 1 住み心地について

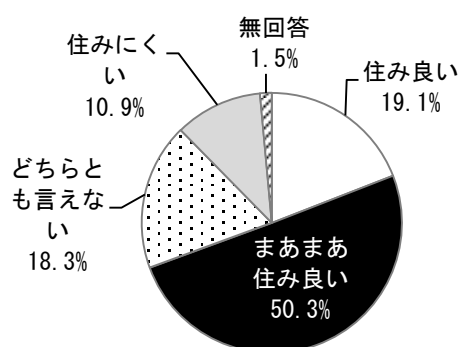
【問】 あなたにとって、現在の羽生市の住み心地はいかがですか。

○現在の羽生市の住み心地については、「まあまあ住み良い」が 50.3%で最も多く、これに「住み良い」(19.1%)を合わせた“住み良い”が 69.4%と約7割を占めています。

##### ■住み心地

	n	%
住み良い	275	19.1
まあまあ住み良い	725	50.3
どちらとも言えない	263	18.3
住みにくい	157	10.9
無回答	21	1.5
全体	1441	100.0

【住み心地】



【問】 あなたは、現在の場所に住み続けたいとお考えですか。

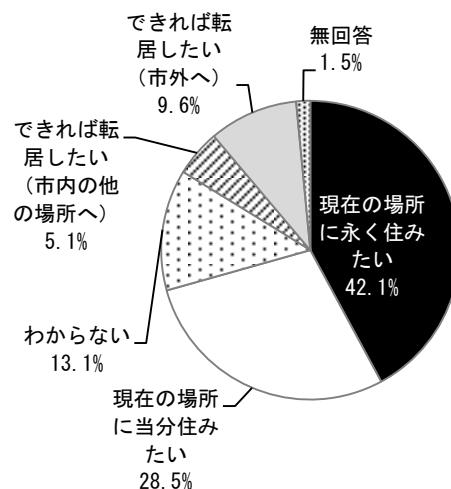
○定住意向については、「現在の場所に永く住みたい」が 42.1%と4割強を占めています。これに「現在の場所に当分住みたい」(28.5%)を合わせた“住み続けたい”が 70.6%となっており、定住意向は高い傾向となっています。

○「できれば転居したい(市外へ)」は 9.6%となっています。

##### ■定住意向

	n	%
現在の場所に永く住みたい	607	42.1
現在の場所に当分住みたい	411	28.5
わからない	189	13.1
できれば転居したい(市内の他の場所へ)	73	5.1
できれば転居したい(市外へ)	139	9.6
無回答	22	1.5
全体	1441	100.0

【定住意向】



## 2 市役所の取り組みなどについて

**【問】** あなたは、市政や市役所の職員について、どのような印象をお持ちですか。

- 市政や市役所の職員に対する印象について尋ねたところ、“窓口対応の親切さ”を除き「どちらとも言えない」が最も多くなっています。これは、市民が市政や市役所に対し、「良い」とも「悪い」とも判断がつかない、あいまいな印象を持っていることの裏づけとなります。
- さらに、市政や市役所に対する印象（イメージ）を一様に評価するため、各項目の5段階評価を加重平均によって点数化して、プラスとマイナスのイメージで表すことにしました。

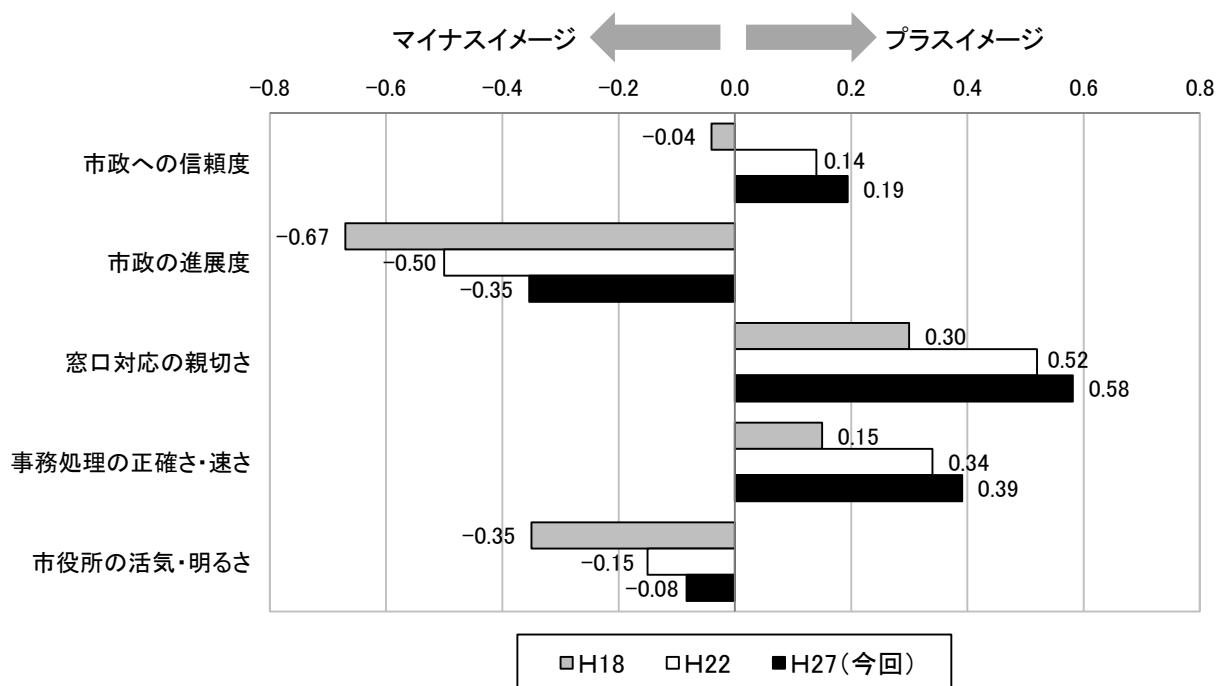
※市政・市役所に対する印象（イメージ）の評価点の算出方法

例) (1) 市政への信頼度

$$\left[ \begin{array}{l} \text{（「非常に信頼できる」の回答者数} \times 2 \text{点）} + \text{（「信頼できる」} \\ \text{の回答者数} \times 1 \text{点）} + \text{（「どちらともいえない」の回答者数} \times \\ 0 \text{点）} + \text{（「やや信頼できない」の回答者数} \times -1 \text{点）} + \text{（「信頼} \\ \text{できない」の回答者数} \times -2 \text{点）} \end{array} \right] \div \left[ \begin{array}{l} \text{「非常に信頼できる」「信頼できる」「どち} \\ \text{らともいえない」「やや信頼できない」「信} \\ \text{頼できない」の回答者数} \end{array} \right] = \text{評価点}$$

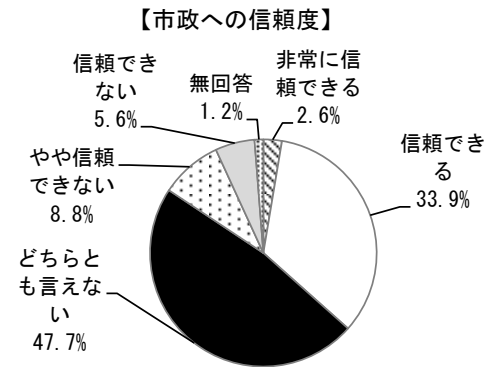
- プラスイメージを最も多く持たれているのは「窓口対応の親切さ」で、次いで「事務処理の正確さ・速さ」が続きます。
- マイナスイメージを最も多く持たれているのは「市政の進展度」となっています。
- 過去の調査との時系列でみると、すべての項目でイメージが上がっています。

【市役所に対する印象度 時系列別加重平均値】



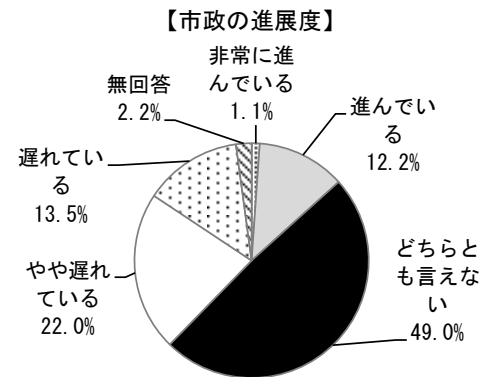
(1) 市政への信頼度

	n	%
非常に信頼できる	38	2.6
信頼できる	489	33.9
どちらとも言えない	688	47.7
やや信頼できない	127	8.8
信頼できない	81	5.6
無回答	18	1.2
全体	1441	100.0



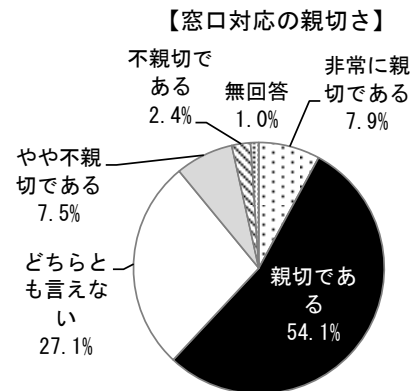
(2) 市政の進展度

	n	%
非常に進んでいる	16	1.1
進んでいる	176	12.2
どちらとも言えない	706	49.0
やや遅れている	317	22.0
遅れている	195	13.5
無回答	31	2.2
全体	1441	100.0



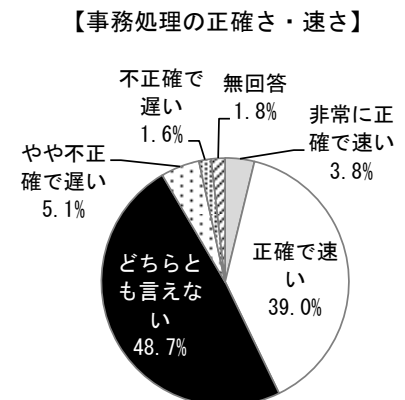
(3) 窓口対応の親切さ

	n	%
非常に親切である	114	7.9
親切である	779	54.1
どちらとも言えない	390	27.1
やや不親切である	108	7.5
不親切である	35	2.4
無回答	15	1.0
全体	1441	100.0



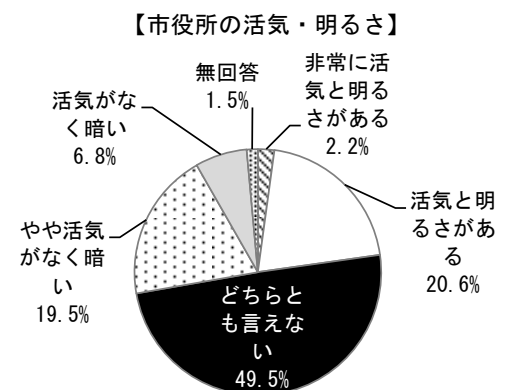
(4) 事務処理の正確さ・速さ

	n	%
非常に正確で速い	55	3.8
正確で速い	562	39.0
どちらとも言えない	702	48.7
やや不正確で遅い	73	5.1
不正確で遅い	23	1.6
無回答	26	1.8
全体	1441	100.0



(5) 市役所の活気・明るさ

	n	%
非常に活気と明るさがある	31	2.2
活気と明るさがある	297	20.6
どちらとも言えない	713	49.5
やや活気がなく暗い	281	19.5
活気がなく暗い	98	6.8
無回答	21	1.5
全体	1441	100.0





### 3 コミュニティについて

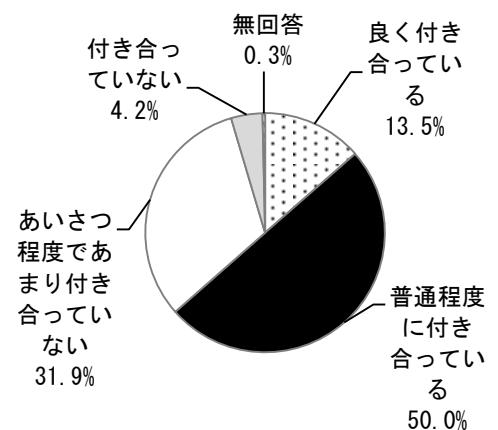
#### 【問】 あなたとご近所の方との付き合いはどうか

- 近所付き合いについては、「普通程度に付き合っている」が50.0%で最も多く、これと「良く付き合っている」(13.5%)を合わせた“近所付き合いがある”が63.5%となっています。
- 「あいさつ程度でありあまり付き合っていない」(31.9%)と「付き合っていない」(4.2%)を合わせた“近所付き合いがない”は36.1%となっています。

#### ■近所付き合い

	n	%
良く付き合っている	195	13.5
普通程度に付き合っている	720	50.0
あいさつ程度でありあまり付き合っていない	460	31.9
付き合っていない	61	4.2
無回答	5	0.3
全体	1441	100.0

【近所付き合い】

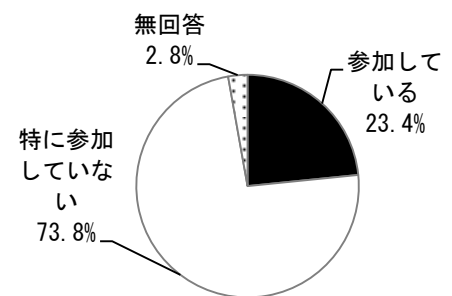


#### 【問】 あなたは、現在どのようなボランティア活動に参加していますか。

【複数回答】

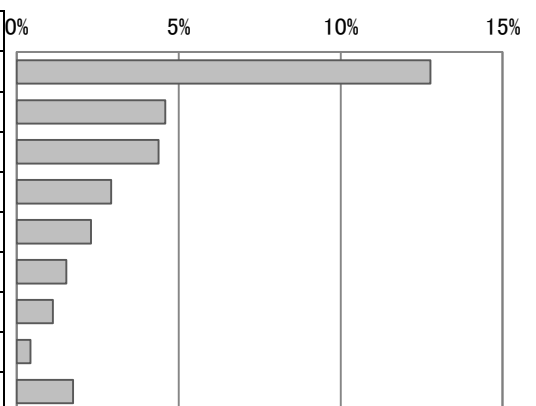
- ボランティア活動については、「特に参加していない」が73.8%で最も多く、7割強を占めます。
- ボランティア活動の内容については、「地域社会（自治会活動、交通安全、非行・犯罪防止）」が12.8%で最も多く、次いで「環境保全（公害、エネルギー、リサイクルなど）」(4.6%)、「福祉活動（高齢者・障がい者支援、子育ての支援など）」(4.4%)などが続きます。

【ボランティア活動の参加状況】



#### ■ボランティア活動

	n	%
地域社会(自治会活動、交通安全、非行・犯罪防止)	184	12.8
環境保全(公害、エネルギー、リサイクルなど)	66	4.6
福祉活動(高齢者・障がい者支援、子育ての支援など)	63	4.4
スポーツ(各種スポーツの指導など)	42	2.9
文化活動(書道・絵画・音楽・手芸の指導など)	33	2.3
災害時の支援(被災者支援、救援物資の供給など)	22	1.5
保健・医療(食生活、健康増進、病院ボランティアなど)	16	1.1
国際交流(留学生との交流・支援、通訳など)	6	0.4
その他	25	1.7
特に参加していない	1063	73.8
全体	1441	100.0



## 4 羽生市の将来像について

【問】 あなたは、将来羽生市がどのような都市になったら良いとお考えですか。 【複数回答】

○羽生市の将来像については、「福祉施設が充実した福祉都市」が40.4%で最も多く、次いで「子育てしやすい安心な都市」(38.7%)、「水と緑あふれる田園都市」及び「活気あふれる商業都市」(同率23.5%)などが続きます。

### ■羽生市の将来像

	n	%
福祉施設が充実した福祉都市	582	40.4
子育てしやすい安心な都市	557	38.7
水と緑あふれる田園都市	339	23.5
活気ある商業都市	338	23.5
静かな住宅都市	257	17.8
教育・文化の文教都市	179	12.4
工業団地などのある活気に満ちた工業都市	149	10.3
その他	31	2.2
全体	1441	100.0

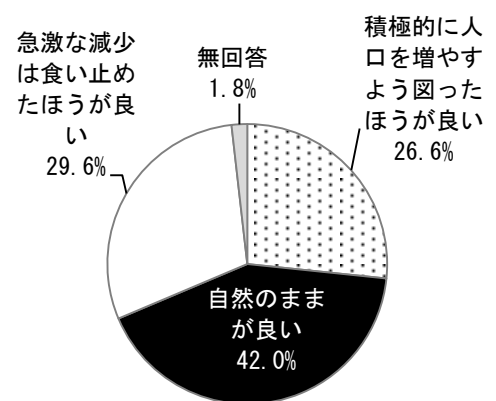
【問】 現在、羽生市の人口は55,746人（平成27年10月1日現在）ですが、あなたは羽生市の将来の人口について、どうなったら良いとお考えですか。

○羽生市の将来の人口については、「自然のままが良い」が42.0%で最も多く、次いで「急激な減少は食い止めたほうが良い」が29.6%、「積極的に人口を増やすよう図ったほうが良い」が26.6%となっています。

### ■将来の人口

	n	%
積極的に人口を増やすよう図ったほうが良い	384	26.6
自然のままが良い	605	42.0
急激な減少は食い止めたほうが良い	426	29.6
無回答	26	1.8
全体	1441	100.0

【将来の人口】



## 5 市の特徴について

【問】 羽生市の中で好きな場所や景色について記入してください。

○701人（48.6%）の方から771件の意見が記入されました。

○大きく分類すると「自然系」が422件、「都市・にぎわい系」が169件、「眺望系」が101件、「歴史・文化系」が43件、「特にない・好きな場所はない」が36件となっています。

好きな場所・景色の内容（各欄とも件数順上位3位）

自然系		都市・にぎわい系		眺望系		歴史・文化系	
場所	件数	場所	件数	場所	件数	場所	件数
利根川	179	イオンモール羽生	59	昭和橋	31	羽生市立図書館	10
羽生水郷公園	140	さいたま水族館	39	田園風景	19	大天白公園	7
スカイスポーツ公園	26	キャッセ羽生	22	自宅	13	運動公園	5

【問】 下表に記す地場産品、施設、イベントについて、羽生市を全国にPRするために有効だと思うものはどれですか。 【複数回答】

○全国PRに有効なものについては、「世界キャラクターサミット in 羽生」が43.8%で最も多く、次いで「さいたま水族館」(32.2%)、「羽生水郷公園」(23.6%)、「藍染め」(23.3%)、「いがまんじゅう」(21.0%)、「利根川」(14.2%)などが続きます。

○上位項目をみると、イベント、施設、名所、名物、キャラクターなど、多様な分野のものが選ばれています。

### ■全国PRに有効なもの

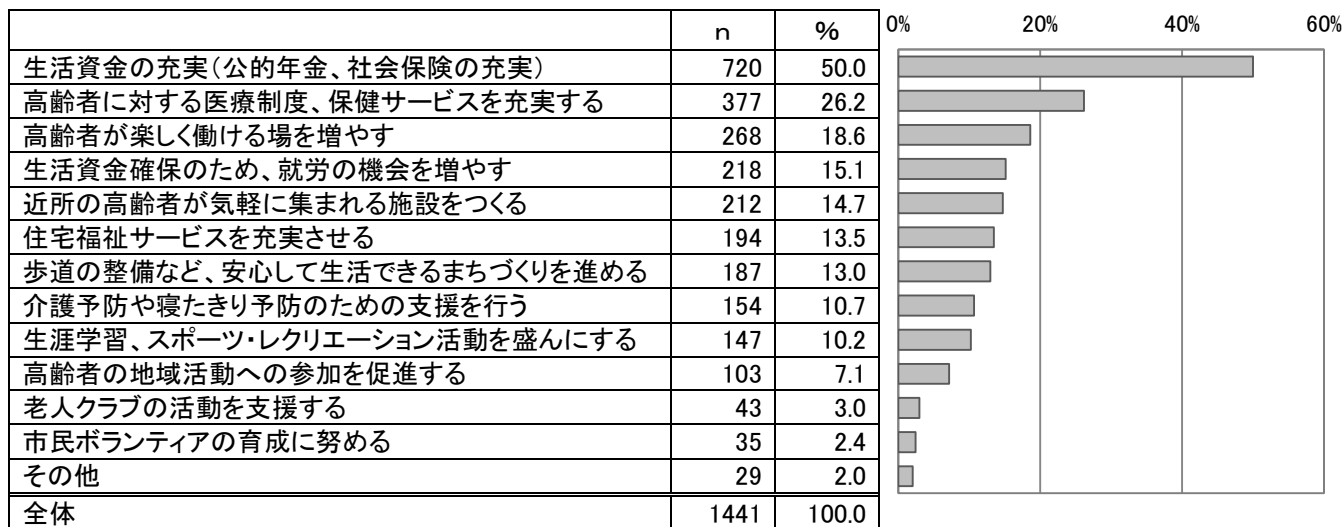
	n	%	
世界キャラクターサミット in 羽生	631	43.8	43.8%
さいたま水族館	464	32.2	32.2%
羽生水郷公園	340	23.6	23.6%
藍染め	336	23.3	23.3%
いがまんじゅう	303	21.0	21.0%
利根川	204	14.2	14.2%
ムジナもんなどのキャラクター	166	11.5	11.5%
宝蔵時沼ムジナモ自生地	151	10.5	10.5%
大型商業施設	126	8.7	8.7%
地ビール	122	8.5	8.5%
羽生夏まつり	122	8.5	8.5%
田舎教師	119	8.3	8.3%
藍のまち羽生さわやかマラソン大会	114	7.9	7.9%
キャッセ羽生	88	6.1	6.1%
彩のかがやき	79	5.5	5.5%
コスモフェスティバル	71	4.9	4.9%
商工・農業まつり	59	4.1	4.1%
永明寺古墳	51	3.5	3.5%
藤(大天白公園)	48	3.3	3.3%
桜まつり	45	3.1	3.1%
愛情(藍城)弁当などのご当地グルメ	28	1.9	1.9%
フロアカーリング	19	1.3	1.3%
ふるさとの詩	19	1.3	1.3%
菊まつり	13	0.9	0.9%
全体	1441	100.0	

## 6 福祉・リサイクル・交通について

【問】 今後、高齢化がますます進むことが予想されますが、幸せで生きがいのある老後を送るために、あなたは何が大切だとお考えですか。 【複数回答】

○生きがいのある老後のために大切なものについては、「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が50.0%で最も多く、次いで「高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する」（26.2%）、「高齢者が楽しく働ける場を増やす」（18.6%）などが続きます。

### ■生きがいのある老後

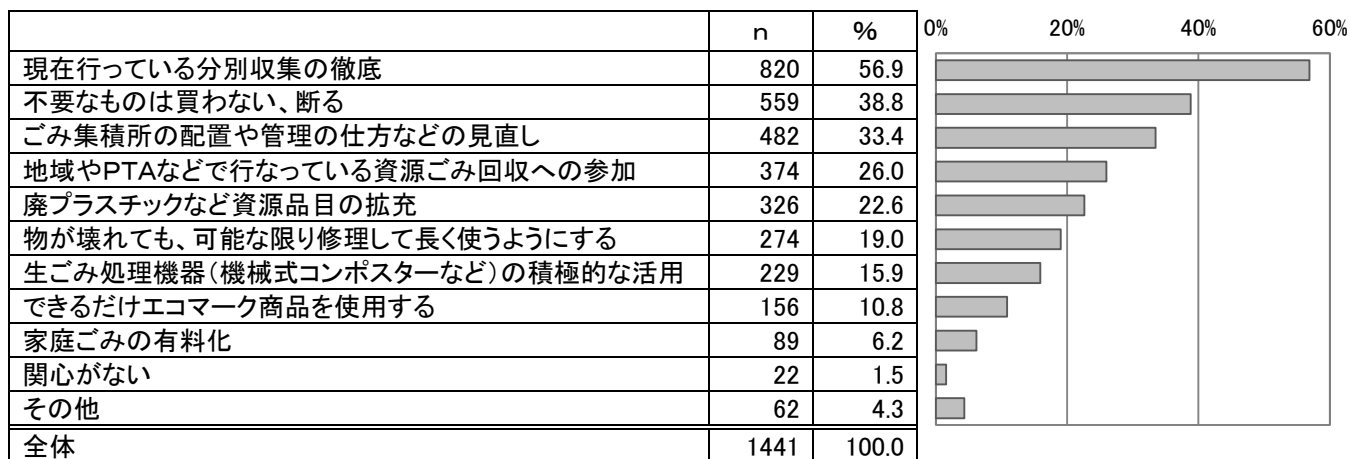


【問】 最近、ごみ問題への関心が高まってきていますが、その課題の一つとして家庭ごみの減量が挙げられます。家庭のごみを減らしたり、リサイクル（再利用・再資源）をすすめていくうえで、どのようなことが必要だとお考えですか。 【複数回答】

○ごみ問題の対策として家庭ごみを減量するうえで何が必要であるかについては、「現在行っている分別収集の徹底」が56.9%と半数以上を占めて最も多く、次いで「不要なものを買わない、断る」（38.8%）、「ごみ集積所の配置や管理の仕方などの見直し」（33.4%）などが続きます。

○「関心がない」は1.5%にとどまります。

### ■ごみのリサイクル



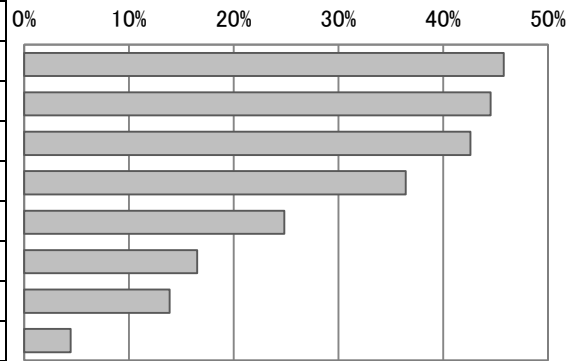
【問】 羽生市の交通についてこれから必要だと思うものは何ですか。

【複数回答】

○交通について必要なものについては、「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」が45.8%で最も多く、次いで「歩道の整備」(44.6%)、「身近な生活道路の整備」(42.6%)などが続きます。

■交通

	n	%
鉄道やバスなどの公共交通施設の充実	660	45.8
歩道の整備	642	44.6
身近な生活道路の整備	614	42.6
自転車道の整備	525	36.4
駅周辺や中心市街地の駐車場の整備	358	24.8
近隣市町を結ぶ幹線道路の整備	238	16.5
地域間を結ぶ幹線道路の整備	200	13.9
その他	64	4.4
全体	1441	100.0



## 7 通信環境などについて

【問】 あなたは、羽生市のホームページをご覧になりますか。

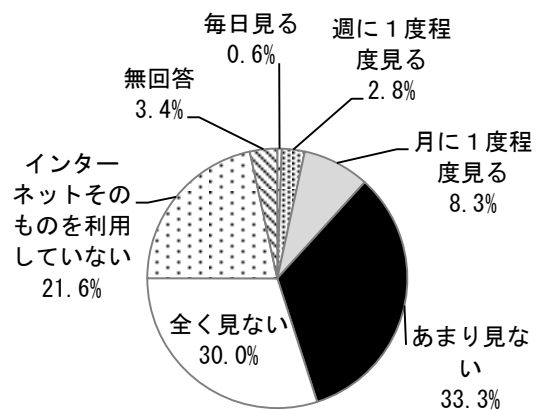
○市のホームページの利用状況については、「あまり見ない」が33.3%で最も多く、次いで「全く見ない」(30.0%)、「インターネットそのものを利用していない」(21.6%)などが続きます。

○「毎日見る」「週に1度程度見る」「月に1度程度見る」を合わせた“見る”は11.7%となっています。

■市のホームページ利用状況

	n	%
毎日見る	8	0.6
週に1度程度見る	41	2.8
月に1度程度見る	120	8.3
あまり見ない	480	33.3
全く見ない	432	30.0
インターネットそのものを利用していない	311	21.6
無回答	49	3.4
全体	1441	100.0

【市のホームページ利用状況】



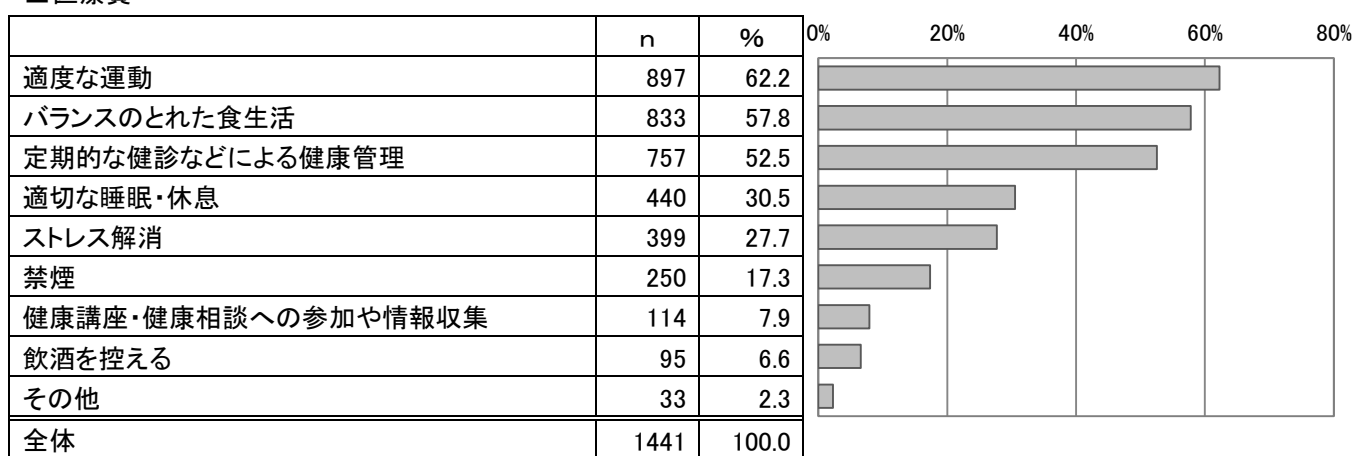
## 8 医療・防災・防犯について

【問】 市の国民健康保険における一人当たりの医療費は、年々増加しています。そこで、医療費の増加を抑え、健康でいきいきと暮らすためには、何が大切だと思いますか。

【複数回答】

○医療費の増加を抑え健康に暮らすためには、「適度な運動」が62.2%で最も多く、次いで「バランスのとれた食生活」(57.8%)、「定期的な健診などによる健康管理」(52.5%)が続き、いずれも半数以上を占めています。

### ■医療費

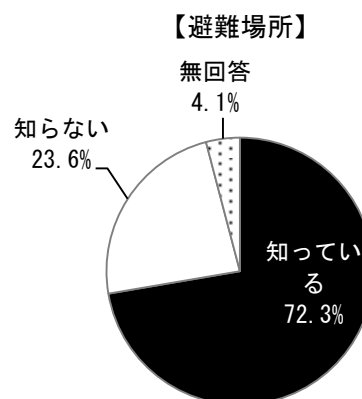


【問】 あなたは、震災・水害時の避難所をご存じですか。

○震災・水害時の避難場所については、「知っている」が72.3%と7割強を占めます。一方で「知らない」が23.6%となっています。

### ■避難場所

	n	%
知っている	1042	72.3
知らない	340	23.6
無回答	59	4.1
全体	1441	100.0



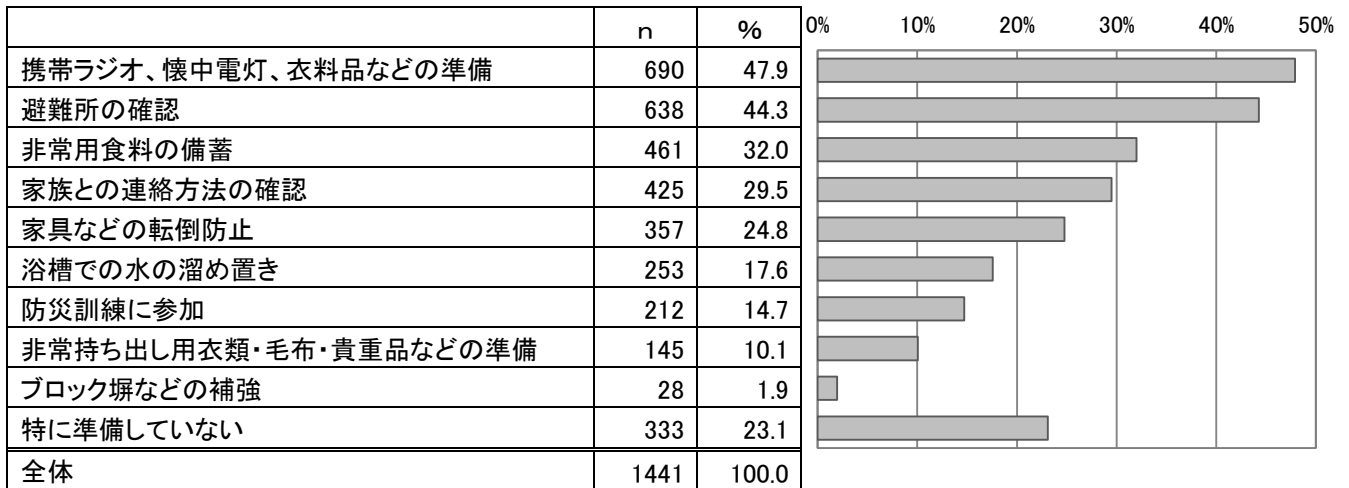
【問】 あなたの家では、震災や水害などの災害時に備えてどのような準備をしていますか。

【複数回答】

○災害時の備えについては、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」が47.9%で最も多く、次いで「避難所の確認」(44.3%)、「非常用食料の備蓄」(32.0%)、「家族との連絡方法の確認」(29.5%)などが続きます。

○「特に準備していない」は23.1%となっています。

■災害時の備え

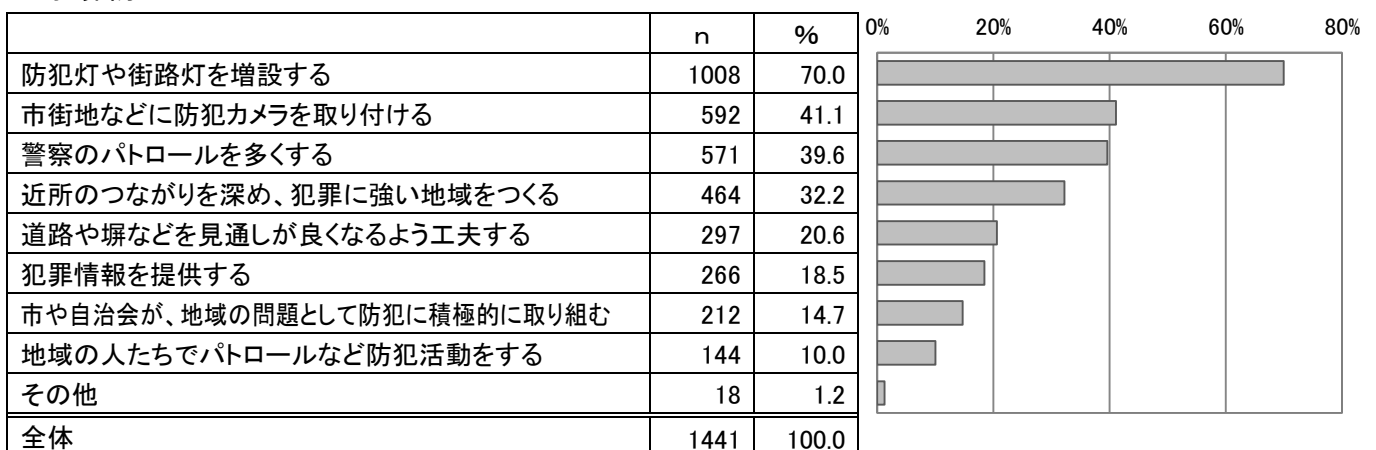


【問】 あなたの身の回りで起きる犯罪を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。

【複数回答】

○犯罪を防止するために必要なことは、「防犯灯や街路灯を増設する」が70.0%で最も多く、次いで「市街地などに防犯カメラを取り付ける」(41.1%)、「警察のパトロールを多くする」(39.6%)などが続きます。

■犯罪防止



## 9 選挙について

【問】 最近、選挙の投票率の低い状態が続いています。あなたは、その理由は何だと思えますか。 【複数回答】

○投票率が低い理由については、「有権者の政治への無関心」が40.2%で最も多く、次いで「投票しても政治は良くならないと思うため」(35.9%)、「有権者の政治への不満や不信の現れ」(28.5%)などが続きます。

### ■投票率の低い理由

	n	%
有権者の政治への無関心	579	40.2
投票しても政治は良くならないと思うため	517	35.9
有権者の政治への不満や不信の現れ	411	28.5
若い人の政治への無関心	393	27.3
支持できる候補者・政党がないため	376	26.1
政治的に争点のない選挙が多く、有権者の関心が低いため	182	12.6
時間や場所など投票に制約が多いため	52	3.6
候補者・政党のPR不足	49	3.4
その他	36	2.5
わからない	40	2.8
全体	1441	100.0

【問】 選挙の投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思えますか。 【複数回答】

○投票率を上げる方法については、「自宅での投票や郵便投票ができるようにする」が34.5%で最も多く、次いで「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」(32.0%)、「市内のどの投票所でも投票できるようにする」(22.8%)が続きます。

### ■投票率を上げる方法

	n	%
自宅での投票や郵便投票ができるようにする	497	34.5
候補者に公約を守らせるような仕組みを考える	461	32.0
市内のどの投票所でも投票できるようにする	329	22.8
学校で行う、政治や選挙についての授業を充実させる	291	20.2
投票への啓発活動をより積極的に進める	261	18.1
選挙運動をもっと自由にし、選挙に関する関心や参加を高める	223	15.5
わからない	112	7.8
その他	76	5.3
全体	1441	100.0



## 10 教育・スポーツについて

【問】 あなたは、羽生市の学校教育をさらに行き届いたものにするためには、特に何に力を注ぐべきだと思われますか。 【複数回答】

- 学校教育で特に力を注ぐべき項目については、「善悪を判断できる児童生徒の育成」が33.4%で最も多く、次いで「教員の指導力の向上」(30.0%)、「考える力を育成する学習の充実」(23.4%)などが続きます。
- 上位項目では児童生徒の育成や教員の資質についての意見が多く、「学校施設・設備の充実」は5.0%にとどまります。

### ■学校教育について

	n	%
善悪を判断できる児童生徒の育成	482	33.4
教員の指導力の向上	433	30.0
考える力を育成する学習の充実	337	23.4
基礎的・基本的な学習の定着	256	17.8
耐える力、がんばりぬく力の育成	247	17.1
道徳教育の充実	244	16.9
社会体験・自然体験の充実	192	13.3
基礎的な生活習慣の定着	184	12.8
学校施設・設備の充実	72	5.0
部活動などの充実	61	4.2
教育相談の充実	48	3.3
学校ボランティアの充実	43	3.0
その他	40	2.8
全体	1441	100.0

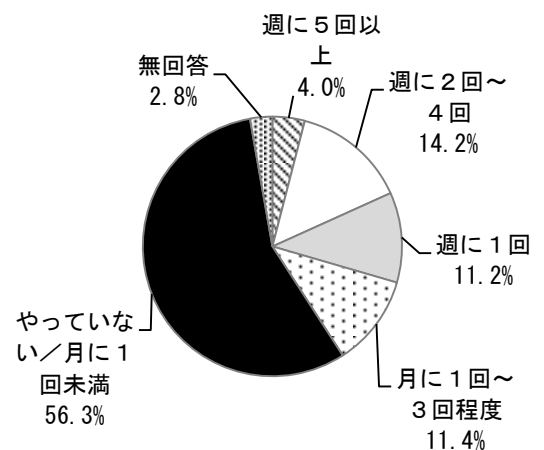
【問】 あなたは、どれ位の頻度でスポーツを行っていますか。

- スポーツをする頻度については、「やっていない／月に1回未満」が56.3%で最も多く、半数以上を占めています。
- 定期的にスポーツを行っている人の中では「週に2回～4回」が14.2%で最も多く、次いで「月に1回～3回程度」(11.4%)が続きます。

### ■スポーツをする頻度

	n	%
週に5回以上	58	4.0
週に2回～4回	205	14.2
週に1回	162	11.2
月に1回～3回程度	164	11.4
やっていない／月に1回未満	812	56.3
無回答	40	2.8
全体	1441	100.0

【スポーツをする頻度】



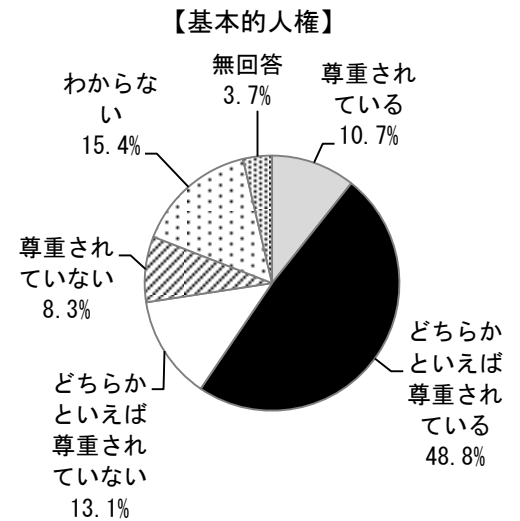
# 11 人権・男女平等観について

**【問】 「人権」とは、誰もが生まれながらにして持っている権利であり、幸せに生きるためになくしてはならないものです。あなたは、今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。**

- 基本的人権の尊重については、「どちらかといえば尊重されている」が48.8%で最も多く、これに「尊重されている」(10.7%)を合わせた“尊重されている”は59.5%と約6割を占めます。
- 「どちらかといえば尊重されていない」及び「尊重されていない」を合わせた“尊重されていない”は21.4%となっています。

■基本的人権

	n	%
尊重されている	154	10.7
どちらかといえば尊重されている	703	48.8
どちらかといえば尊重されていない	189	13.1
尊重されていない	120	8.3
わからない	222	15.4
無回答	53	3.7
全体	1441	100.0

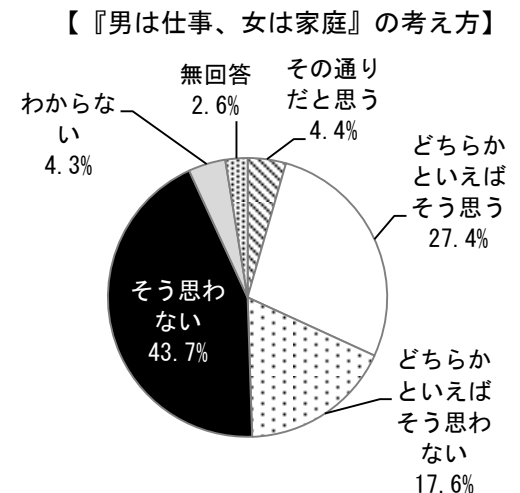


**【問】 あなたは、『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか。**

- 『男は仕事、女は家庭』という考え方については、「そう思わない」が43.7%で最も多く、「どちらかといえばそう思わない」(17.6%)と合わせた“思わない”は61.3%と約6割を占めています。
- 「どちらかといえばそう思う」は27.4%で、「その通りだと思う」(4.4%)と合わせた“思う”は31.8%となっています。

■『男は仕事、女は家庭』の考え方

	n	%
その通りだと思う	64	4.4
どちらかといえばそう思う	395	27.4
どちらかといえばそう思わない	254	17.6
そう思わない	629	43.7
わからない	62	4.3
無回答	37	2.6
全体	1441	100.0



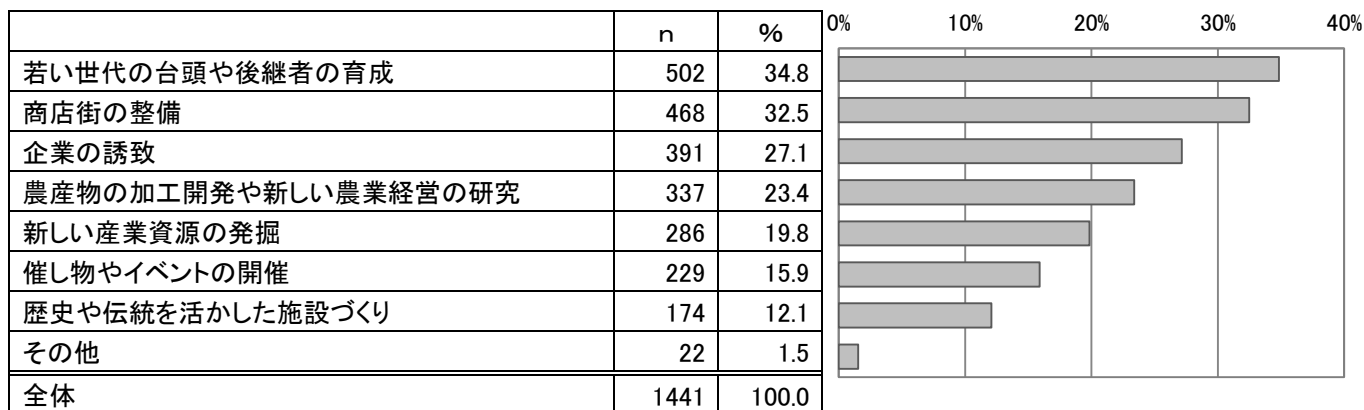
## 12 産業・商業について

【問】 あなたは市の商業や産業の振興について何が重要だとお考えですか。

【複数回答】

○商業や産業の振興において重要なことについては、「若い世代の台頭や後継者の育成」が34.8%で最も多く、次いで「商店街の整備」(32.5%)、「企業の誘致」(27.1%)などが続きます。

### ■商業・産業の振興



## 13 全般的なまちづくりについて

【問】 市政に対し、以下の項目についてどう感じていますか。

○各施策にどの程度満足しているかを尋ねたところ、「満足」及び「まあまあ満足」を合わせた“満足”が最も多いのは「消防・救急の充実」で、一方「やや不満足」及び「不満足」を合わせた“不満足”が多いのは「公共交通の利便性の向上」「道路の整備」「下水道の整備」などとなっています。

○さらに、施策の満足度を一様に評価するため、各項目の5段階評価を加重平均によって点数化して、満足度を表すこととしました。値がプラスになるほど満足感が強く、マイナスになるほど不満足感が強いということになります。

### ※施策満足度の評価点の算出方法

$$\left[ \begin{array}{l} (\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点}) + (\text{「やや満足」の回答者数} \times 1 \\ \text{点}) + (\text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点}) + (\text{「やや不満足」の回答} \\ \text{者数} \times -1 \text{点}) + (\text{「不満足」の回答者数} \times -2 \text{点}) \end{array} \right] \div \left[ \begin{array}{l} \text{「満足」「やや満足」「普通」「やや不満足」} \\ \text{「不満足」の回答者数} \end{array} \right] = \text{評価点}$$

○満足度の評価が最も低いのは「公共交通の利便性の向上」(-0.56点)、次いで「勤労者支援・雇用の促進」(-0.53点)、「道路の整備」(-0.45点)などとなっています。

【施策の満足度の割合と評価点】

			満足	まあまあ満足	普通	やや不満足	不満足	わからない	無回答	評価点
市民との協働によるまちづくり	市民協働の推進	n %	14 1.0	98 6.8	731 50.7	78 5.4	35 2.4	407 28.2	78 5.4	-0.02
	人権施策の推進	n %	20 1.4	103 7.1	722 50.1	75 5.2	20 1.4	424 29.4	77 5.3	③ 0.03
	男女共同参画の推進	n %	13 0.9	85 5.9	730 50.7	91 6.3	25 1.7	417 28.9	80 5.6	-0.03
	都市交流・国際交流の推進	n %	15 1.0	113 7.8	612 42.5	132 9.2	48 3.3	441 30.6	80 5.6	-0.09
安全で安心なまちづくり	危機管理の充実	n %	10 0.7	117 8.1	681 47.3	228 15.8	75 5.2	245 17.0	85 5.9	-0.22
	防災対策の推進	n %	15 1.0	152 10.5	694 48.2	230 16.0	80 5.6	190 13.2	80 5.6	-0.18
	消防・救急の充実	n %	45 ② 3.1	276 19.2	709 49.2	140 9.7	48 3.3	146 10.1	77 5.3	① 0.11
	防犯対策の推進	n %	14 1.0	147 10.2	714 49.5	218 15.1	84 5.8	185 12.8	79 5.5	-0.18
	交通安全対策の推進	n %	24 1.7	164 11.4	748 51.9	187 13.0	71 4.9	172 11.9	75 5.2	-0.10
	消費者行政の推進	n %	11 0.8	81 5.6	701 48.6	177 12.3	50 3.5	336 23.3	85 5.9	-0.17
健康で希望に満ちたまちづくり	地域福祉の推進	n %	18 1.2	137 9.5	743 51.6	182 12.6	45 3.1	224 15.5	92 6.4	-0.09
	健康づくりの推進	n %	22 1.5	207 14.4	746 51.8	155 10.8	28 1.9	195 13.5	88 6.1	③ 0.03
	地域医療の充実	n %	27 1.9	172 11.9	671 46.6	221 15.3	105 7.3	152 10.5	93 6.5	-0.17
	子育て支援の推進	n %	16 1.1	133 9.2	677 47.0	207 14.4	68 4.7	250 17.3	90 6.2	-0.16
	障がい者支援の推進	n %	16 1.1	96 6.7	661 45.9	177 12.3	64 4.4	338 23.5	89 6.2	-0.17
	高齢者支援の推進	n %	20 1.4	110 7.6	647 44.9	211 14.6	81 5.6	285 19.8	87 6.0	-0.21
	社会保障の充実	n %	9 0.6	77 5.3	668 46.4	227 15.8	110 7.6	259 18.0	91 6.3	-0.32
次代を担う個性豊かなまちづくり	幼児・家庭教育の充実	n %	11 0.8	104 7.2	724 50.2	168 11.7	45 3.1	291 20.2	98 6.8	-0.13
	義務教育の充実	n %	25 1.7	154 10.7	793 55.0	112 7.8	35 2.4	231 16.0	91 6.3	0.02
	高等教育機関などとの連携	n %	8 0.6	92 6.4	707 49.1	145 10.1	50 3.5	342 23.7	97 6.7	-0.14
	生涯学習の推進	n %	13 0.9	119 8.3	736 51.1	137 9.5	35 2.4	305 21.2	96 6.7	-0.06
	文化の継承・振興	n %	15 1.0	96 6.7	731 50.7	171 11.9	44 3.1	290 20.1	94 6.5	-0.13
	生涯スポーツの振興	n %	16 1.1	110 7.6	730 50.7	145 10.1	51 3.5	292 20.3	97 6.7	-0.10

※第1位～第3位を①～③で記しています。

			満足	まあまあ満足	普通	やや不満足	不満足	わからない	無回答	評価点
活かに満ちたまちづくり	農業の振興	n	13	93	620	213	97	316	89	-0.28
		%	0.9	6.5	43.0	14.8	6.7	21.9	6.2	
	商業の振興	n	8	67	575	289	129	283	90	-0.43
		%	0.6	4.6	39.9	20.1	9.0	19.6	6.2	
	工業の振興	n	6	62	637	230	99	314	93	-0.34
	%	0.4	4.3	44.2	16.0	6.9	21.8	6.5		
観光の振興	n	9	98	538	292	141	274	89	-0.42	
	%	0.6	6.8	37.3	20.3	9.8	19.0	6.2		
勤労者支援・雇用の促進	n	5	38	545	288	151	325	89	-0.53	
	%	0.3	2.6	37.8	20.0	10.5	22.6	6.2		
快適で住みやすいまちづくり	市街地の整備	n	19	137	646	325	146	85	83	-0.35
		%	1.3	9.5	44.8	③ 22.6	10.1	5.9	5.8	
	道路の整備	n	18	143	567	371	199	65	78	-0.45
		%	1.2	9.9	39.3	① 25.7	② 13.8	4.5	5.4	
	上水道の整備	n	47	184	735	164	122	109	80	-0.10
		%	① 3.3	12.8	51.0	11.4	8.5	7.6	5.6	
	下水道の整備	n	33	126	605	284	198	118	77	-0.39
		%	2.3	8.7	42.0	19.7	③ 13.7	8.2	5.3	
公園・緑地の整備	n	24	174	681	272	122	85	83	-0.23	
	%	1.7	12.1	47.3	18.9	8.5	5.9	5.8		
公共交通の利便性の向上	n	15	87	563	354	231	102	89	-0.56	
	%	1.0	6.0	39.1	② 24.6	① 16.0	7.1	6.2		
ごみ処理の適正化	n	27	160	742	234	94	101	83	-0.17	
	%	1.9	11.1	51.5	16.2	6.5	7.0	5.8		
環境保全の推進	n	11	109	847	136	55	187	96	-0.10	
	%	0.8	7.6	① 58.8	9.4	3.8	13.0	6.7		
行政経営の改革	広報・広聴の充実	n	41	201	781	94	52	185	87	② 0.07
		%	③ 2.8	③ 13.9	54.2	6.5	3.6	12.8	6.0	
	情報化の推進	n	18	116	783	131	53	251	89	-0.08
		%	1.2	8.0	③ 54.3	9.1	3.7	17.4	6.2	
	情報の公開と適正な運用	n	13	104	739	134	64	292	95	-0.13
		%	0.9	7.2	51.3	9.3	4.4	20.3	6.6	
行政改革の推進	n	9	69	678	167	69	356	93	-0.22	
	%	0.6	4.8	47.1	11.6	4.8	24.7	6.5		
人事管理	n	6	55	649	131	75	431	94	-0.23	
	%	0.4	3.8	45.0	9.1	5.2	29.9	6.5		
健全な財政運営	n	13	86	600	172	111	367	92	-0.29	
	%	0.9	6.0	41.6	11.9	7.7	25.5	6.4		

※第1位～第3位を①～③で記しています。

【問】 あなたは、これからの市政に対して、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。

【複数回答】

○市政に対して特に力を入れてほしいものについては、「高齢者支援の推進」が31.8%で最も多く、次いで「地域医療の充実」(25.1%)、「防災対策の推進」(21.8%)などとなっており、“健康で希望に満ちたまちづくり”分野の項目が多く挙げられています。

【力を入れるべき施策／全体及び年齢別集計】

		全体				全体	
		n	%			n	%
まちづくり 市民との協働	市民協働の推進	57	4.0	まちづくり 活かに満ちた	農業の振興	147	10.2
	人権施策の推進	17	1.2		商業の振興	196	13.6
	男女共同参画の推進	39	2.7		工業の振興	72	5.0
	都市交流・国際交流の推進	51	3.5		観光の振興	103	7.1
まちづくり 安全で安心な	危機管理の充実	171	11.9	まちづくり 快適で住みやすい	勤労者支援・雇用の促進	191	13.3
	防災対策の推進	314	③ 21.8		市街地の整備	121	8.4
	消防・救急の充実	219	15.2		道路の整備	256	17.8
	防犯対策の推進	236	16.4		上水道の整備	54	3.7
	交通安全対策の推進	125	8.7		下水道の整備	233	16.2
	消費者行政の推進	33	2.3		公園・緑地の整備	179	12.4
まちづくり 健康で希望に満ちた	地域福祉の推進	128	8.9	行政経営の改革	公共交通の利便性の向上	241	16.7
	健康づくりの推進	193	13.4		ごみ処理の適正化	208	14.4
	地域医療の充実	361	② 25.1		環境保全の推進	69	4.8
	子育て支援の推進	298	20.7		広報・広聴の充実	23	1.6
	障がい者支援の推進	113	7.8		情報化の推進	21	1.5
	高齢者支援の推進	458	① 31.8		情報の公開と適正な運用	62	4.3
	社会保障の充実	304	21.1		行政改革の推進	52	3.6
かなまちづくり 時代を担う個性豊	幼児・家庭教育の充実	119	8.3	人事管理	38	2.6	
	義務教育の充実	110	7.6	健全な財政運営	293	20.3	
	高等教育機関などとの連携	31	2.2				
	生涯学習の推進	68	4.7				
	文化の継承・振興	51	3.5				
	生涯スポーツの振興	83	5.8				

※第1位～第3位を①～③で記しています。

## IV. 調査結果のまとめ

### 1 住み心地について

住み心地については、「まあまあ住み良い」が50.3%で最も多く、これに「住み良い」(19.1%)を合わせた“住み良い”とする人は約7割になります。「住み良い」割合を時系列でみると、調査回数を重ねるごとに増加しています。“住み良い”理由としては、「永年住みなれ、愛着がある」(54.7%)が最も多く、次いで「自然環境が良い」(40.0%)となっています。一方、住みにくい理由として、前回調査に引き続き「交通の便が悪い」「都市施設が整っていない」「買い物が不便である」などが多く挙げられており、今後もこれらの条件、整備状況などを積極的に改善していくことが求められています。さらに、定住意向については、「現在の場所に永く住みたい」(42.1%)と「現在の場所に当分住みたい」(28.5%)を合わせた“住み続けたい”とする人は70.6%となっています。“住み続けたい”を時系列でみると、前々回調査の6割半ばを、前回調査が7割半ばで上回りましたが、今回調査で約7割に減少しています。“転居したい”とする人は増加傾向にあります。年齢別にみると、20～29歳では「できれば転居したい(市外へ)」の割合が他の世代よりも高く、主に若年層の定住を支える施策が求められています。住み続けるために必要なものについて、全体では「医療施設や福祉施設の充実」が求められており、福祉への関心が高くなっているとうかがえます。40歳未満では、「商業施設の充実」「医療施設の充実」「生活道路の整備」に加えて「子育て支援施設の充実」が多く挙げられており、生活基盤の充実とともに子育て環境の充実が求められています。

### 2 市役所の取り組みなどについて

「広報はにゅう」の閲読状況については、「必ず読む」(51.0%)と「ときどき読む」(32.6%)を合わせた“読む”とする人は83.6%と8割強を占めます。しかしながら、時系列で“読む”の推移をみると、前回調査(92.2%)では増加しましたが今回調査で減少し、前々回調査(85.6%)を下回ります。一方、「ぎかいだより」については、「必ず読む」(21.1%)と「ときどき読む」(43.3%)を合わせた“読む”が64.4%と6割以上を占めますが、「広報はにゅう」に比べて低い閲読状況となっています。また、時系列で“読む”の推移をみると、「広報はにゅう」と同様の傾向がみられ、市民に親しまれる紙面づくりのさらなる工夫が必要であるといえます。市民参加・市民参画・市民協働による市民が主役のまちづくりを推進するために定めた「羽生市まちづくり自治基本条例」については、「内容を知っている」が4.9%にとどまっています。また、20～29歳では「全く聞いたことがない」が7割強を占めており、今後、条例の目的を果たすよう、さらなる情報発信・意識啓発が求められます。協働によるまちづくりの一つである市の計画づくりへの参加意向については、“参加したい”が半数以上を占めますが、年齢別でみると、20～29歳では「興味がないので参加しない」が“参加したい”を上回り、若年層が興味を持てるよう計画づくりのPR活動が必要とされます。市政・市役所に対する住民のイメージは、「市政への信頼度」「市政の進展度」「窓口対応の親切さ」「事務処理の正確さ・速さ」「市役所の活気・明るさ」、すべての項目で前回調査を上回る評価を受けており、増加傾向にあります。しかしながら、「どちらとも言えない」がすべての項目で高い割合を占めており、市民が市政や市役所に対し、良い・悪いともつかない曖昧な印象を持っていることの裏付けとなっています。今後、より良いまちづくりを進めていくうえで、市民の行政への関心を高め、行政に対する意見や要望などを広く反映していくためにも、市民の多様な声に耳を傾け、市民と行政が一体となって施策を展開していくことが重要となっています。

### 3 コミュニティについて

近所付き合いについては、「良く付き合っている」及び「普通程度に付き合っている」を合わせた“近所付き合いがある”とする人は 63.5%となっており、高い割合となっていますが、時系列でみると前回調査より減少しています。年齢別にみると若い世代で「あいさつ程度であまり付き合っていない」が多いことから、近所付き合いが希薄になっている様子がうかがえます。行事への参加については、「積極的に参加している」「ときどき参加している」「やむを得ず参加している」を合わせた“参加している”とする人は前回調査では7割半ばに増加しましたが、今回調査では6割半ばに減少しています。また、「参加していない」とする人が前回調査では2割半ばとなりましたが、3割半ばに増加しています。年齢別にみると「参加していない」が若い世代で多いことから、自治会などの強化や地域が一体となったコミュニティのさらなる活性化を図る必要があります。前回マイナスイメージであった喫煙マナーについては、今回調査ではプラスイメージになっています。空き缶・ごみなどの後始末、ペットの飼育マナーなどは、全体的に悪い評価となっていますが、前回調査に比べてイメージは上がっています。また、前回もプラスイメージであったごみの分別・持ち出し方、公共物の使い方、高齢者や障がい者などへの思いやりについては、引き続き良い評価となっています。各マナーについて、引き続き啓発・意識の向上が求められます。また、ボランティア活動においては、参加していない人が多いものの、年齢が高くなるほど複数の活動に参加している方も多くなっています。

### 4 羽生市の将来像について

羽生市の将来像については、「福祉施設が充実した福祉都市」が 40.4%で最も多く、次いで今回調査から追加された「子育てしやすい安心な都市」(38.7%)が続き、福祉と子育てに重点が置かれたやさしい都市づくりが望まれていることがうかがえます。将来の人口については、「自然のまま」が4割強を占めていますが、市の人口減少傾向がみられる中、「急激な減少は食い止めたほうが良い」割合も約3割、「積極的に取り組むべきだと思う」も2割半ばとなっています。市町村合併については、「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」が40.9%と最も多く、次いで「わからない」(24.5%)が続きます。また、「合併すべきではない」とする人も16.4%となっています。前回調査と比べて「積極的に取り組むべきだと思う」及び「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」はともに減少し、「合併するべきではないと思う」及び「わからない」とする割合が増加しています。

### 5 市の特徴について

食虫植物「ムジナモ」について何らかの情報を“知っている”は94.6%を占め、非常に高い認知度となっています。しかし20～29歳では「知っているが、実物も写真も見ただことがない」の割合が他の年代に比べて高く、さらなる情報発信が求められます。また、好きな場所について「利根川」や「羽生水郷公園」などの自然系景観の活用に関する記述が多くみられ、市を代表する景観であることがうかがえます。

全国PRに有効なものとしては「世界キャラクターサミット in 羽生」が43.8%と最も多くなっています。次いで「さいたま水族館」が3割強、「羽生水郷公園」「藍染め」「いがまんじゅう」が2割強で続いています。また、年齢別・地区別でみてもほとんどすべての層で「世界キャラクターサミット in 羽生」が第1位に挙げられていることから、キャラクターサミットへの市民の期待の高さがうかがえます。



す。観光交流人口を増やすために有効だと思ふものについては、施設、イベントなどの提案が多くなっています。既存の施設や場所の活用・活性化はもちろん、新しい施設・イベントの実施、人の活用なども検討材料とすることが求められています。

## 6 福祉・リサイクル・交通について

高齢化社会への対応については、「生活資金の充実」とする人が最も多く、次いで「高齢者に対する医療制度・保健サービスを充実する」「高齢者が楽しく働ける場を増やす」「生活資金確保のため、就労の機会を増やす」などが続きます。これらは、いずれも将来の生活に対する不安の現れであり、ハード面よりもソフト面での支援が求められています。子育て支援に期待することについては、約半数の人が「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」を挙げており、次いで「子育てしやすい住環境への支援」「保育所・学童保育の充実」が続き、性別・年齢別でもおおむねすべての層でこれらが上位を占めることから、働きながら子育てができる環境づくりが期待されていることがうかがえます。また、20～29歳では「妊娠・出産に対する支援」が43.8%と多く挙げられており、若い世代への出産のための支援が求められています。ごみのリサイクルについては、「現在行っている分別回収の徹底」が56.9%で最も多く、次いで「不要なものは買わない、断る」「ごみ集積所の配置や管理の仕方などの見直し」などが多く挙げられ、一方、「関心がない」は1.5%にとどまります。これは、ごみ問題に関心が高いのと同時に、身近な問題として解決に取り組もうとする意識がうかがえ、継続して各取り組みに対する意識啓発・情報発信が求められます。交通については、「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」「歩道の整備」「身近な生活道路の整備」などが多くなっており、市内での移動に関する公共交通施設や道路の充実が期待されています。最終電車については、“満足”とする人が27.4%で、“不満足”とする人が33.5%と不満が上回り、また、年齢別で見ると、若い世代ほど“不満足”が増加する傾向がみられます。

## 7 通信環境などについて

市のホームページの利用状況については、「毎日見る」「週に1度見る」「月に1度程度見る」を合わせた“見る”が1割程度にとどまっています。また、年齢別で見ると、20～29歳を除くと、高齢になるにつれて減少する傾向がみられますが、「インターネットそのものを利用していない」は高齢になるにつれて増加していることから、ホームページでの情報受信が若い世代を中心に手軽で有効である一方、高齢世代ではインターネットの利用率自体が低い状況にあり、複合的な情報発信が必要であるといえます。電子申請・届出サービスについては、「知っているが利用したことはない」(48.3%)が最も多く、また、「知らない」が43.7%を占めています。認知度が低いとともに、「利用したことがある」も3.6%にとどまっていることから、普及啓発を図るとともに、利用しやすくなるようさらなる改善が求められます。

## 8 医療・防災・防犯について

健康維持や救急時などにおいて、かかりつけ医や行きつけの総合病院などを決めていることは重要であると認識されています。「かかりつけ・行きつけ」を決めている方は70.4%を占めており、かかりつけ医に対する意識の高さがうかがえます。一方、かかりつけ医は「必要だと思わない」が3.1%となっています。また、年齢別でみると、20～29歳でかかりつけ医は「必要だと思わない」割合が1割を超えていることから、さらなる意識啓発が求められます。医療費の増加を抑え、健康でいきいきと暮らすために必要なことについては、「適切な運動」「バランスのとれた食生活」「定期的な健診などによる健康管理」が多くなっています。“国民健康保険における一人当たりの医療費”を抑えるよう、今後これらの意識啓発や機会の提供などの充実が求められます。健康診断については、受診している方が7割弱を占めており、また、受診していない方でも、その理由として「普段から医者にかかっている」を挙げている方が最も多く、健康への意識の高さがうかがえます。建築基準法新耐震基準の施行[昭和57年(1982)年]前に建てられた築後30年を経過する家が3割弱あり、地震に対しての安全への関心は75.9%と多く、耐震補強工事への希望も高くなっています。住宅用火災警報器については、「設置されていない」が4割以上を占めています。寝室や台所など複数箇所での設置が有効とされている一方、1か所みの設置がまだ多い状況ではありますが、複数箇所設置も増加しており、今後も継続して情報発信をしていくことが重要とされます。災害時の備えについては、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」(47.9%)が最も多く、次いで「避難場所の確認」(44.3%)が挙げられますが、避難場所の認知について尋ねると、23.6%が知らない状況であり、今後周知の徹底を図る必要があります。家庭内部の準備に加え、外部に対しての「ブロック塀などの補強」など複合的な取り組みを啓発していくことが求められます。しかしながら、時系列でみると、いずれの項目もおおむね増加しており、「特に準備していない」が減少していることから、災害時の備えへの意識は高まっていることがうかがえます。防犯への取り組みについては、「センサーライトの設置」や「ドア、窓の二重ロック化」などの取り組みがみられる一方、防犯カメラ・ホームセキュリティー・IT機器などの取り組みは少ない状況にあります。犯罪防止については、防犯灯や街路灯の増設や防犯カメラの設置を望む声が高く、警察への依存度も高くなっていますが、「近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる」も上位項目となっており、意識の向上がうかがえます。

## 9 選挙について

選挙については、投票率が低い理由、投票率を上げる方法ともに、候補者・議員に対する不満や要望が多く挙げられていますが、投票方法の仕組みに関する意見も多く、今後の検討が求められます。

## 10 教育・スポーツについて

学校教育については、学力や施設の充実よりも教員の指導力の向上や善悪を判断できる児童生徒の育成、道徳教育の充実を求める声が高く、児童生徒の「心」の育成が重要な課題となっています。また、学校には、「防犯活動など安全のための活動に取り組む」ことが期待されています。スポーツをする頻度については、やっていない方が半数以上を占めます。やっていない理由として、60歳以上では「健康上の理由」が最も多く、それ以外の年代では「仕事や勉強が忙しいから」が最も多くなっています。健康維持のために適度なスポーツは重要であり、健康上適切な範囲でのスポーツ参加向上を図ることが求められます。

## 11 人権・男女平等観について

基本的人権については、「尊重されていない」「どちらかといえば尊重されていない」とする人が約2割いることから、すべての人が尊重されていると感じられるよう、さらなる人権教育の充実が今後の課題となっています。男女平等観については、“習慣・しきたり・社会通念”、“地域”や“職場”などにおいて、男性の優遇感が根強く残っています。一方、『男は仕事、女は家庭』という考え方については、“思わない”が半数以上を占めており、男女平等観について意識の改善はみられるものの、さらなる向上が課題となっています。

## 12 産業・商業について

買い物については、前回調査でも市内購入が多かった“食料品”に加え、“衣料品”“家具・家電”は市内購入が過半数を占めています。しかし、そのうち“食料品”については小売店が、“衣料品”“家具・家電”は大型店で購入している方が多く、いずれも個人商店での買い物は少なくなっています。米や野菜などの農産物を購入する際の目安については、「新鮮さなどの品質」「国内産または地元産であること」が上位項目となっています。時系列でみると、前回調査で減少した「値段の安さ」が今回調査では増加しており、品質や産地を意識しつつ、安さも重要視する結果となっています。商業・産業の振興については、「若い世代の台頭や後継者の育成」が最も多くなっており、人材育成が課題となっています。

## 13 全般的なまちづくりについて

各施策の満足度を加重平均によって点数化すると、「消防・救急の充実」「広報・広聴の充実」「人権施策の推進」「健康づくりの推進」などの項目で比較的評価が得られています。特に力をいれるべき施策については、「高齢者支援の推進」が31.8%で最も多く、次いで「地域医療の充実」(25.1%)、「防災対策の推進」(21.8%)、などとなっており、“健康で希望に満ちたまちづくり”分野の項目が多く挙げられています。また、年齢別にみても、すべての世代で“健康で希望に満ちたまちづくり”分野の項目が多くなっています。全体的に子育て支援や高齢者などの福祉サービスの充実に加え、防災対策や住環境の整備を求める声が多くなっています。